

**京都市立翔鸞小学校整備事業 給食室棟建替及び北校舎ほか改修工事設計業務委託  
に係る公募型簡易プロポーザル**

**評価要領**

**1 評価基準**

評価の項目、配点及び基準は、別表による。

**2 評価の方法**

- (1) 「京都市立翔鸞小学校整備事業 給食室棟建替及び北校舎ほか改修工事設計業務委託に係る公募型簡易プロポーザル募集要領」（以下「募集要領」という。）に基づく参加資格の確認の結果、参加資格を有すると認められた者（以下「参加有資格者」という。）を対象に、「京都市都市計画局設計業務受託候補者選定委員会設置要綱」（以下「委員会設置要綱」という。）第6条に規定する設計業務受託候補者選定部会（以下「選定部会」という。）が審査する。
- (2) 選定部会は、参加有資格者から提出された技術提案書の第1号様式から第6号様式までについて書面審査を行い、その総合評価点により、優先交渉権第1順位の受託候補者1者と、次点として優先交渉権第2順位及び第3順位の者を選定する。ただし、書面審査の結果を総合的に勘案し、適切に業務が遂行できないと選定部会が認めた参加有資格者については、この限りではない。
- (3) 書面審査の総合評価点が50点以下の者は、優先交渉の対象者とししない。ただし、選定部会が必要と認める場合は、この限りではない。
- (4) 選定部会は、技術提案書の提案内容について、別表の評価項目ごとに各委員の評価点を平均した値を合計して、参加有資格者の評価点を算出する。
- (5) 評価点が同点の者が2者以上いる場合、選定部会が審議して決定する。

**3 同種業務について**

同種業務とは、平成25年度以降に、学校教育法第1条に規定する学校（大学を除く）及び児童福祉法第7条に規定する保育所、幼保連携型認定子ども園、児童厚生施設、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、児童心理治療施設、児童自立支援施設及び児童家庭支援センターの新築、増築又は改築工事のうち、建物構造が木造又は一部木造である建築物に係る基本設計又は実施設計業務（本公募を開始した日の前日までに完了したものに限る。）を元請として受注した実績とする。

※ 設計・施工一括発注方式又はPFIにおける実績については、建築基準法第6条第1項又は、第18条第2項における設計者として確認できるものに限る。

※ 共同企業体における実績については、代表者として受注した実績とする。

**4 書面審査の日程**

令和6年2月14日（水）の実施を予定している。

(別表)

## 評価基準

### 1 書面審査 【 100点】

#### (1) 設計事務所の能力、成績等 【 5点】

| 評価項目   | 評価事項                            | 評価                        | 配点 | 満点 |
|--------|---------------------------------|---------------------------|----|----|
| ①瑕疵担保力 | 損害賠償保険の加入状況                     | A 1事故当たりの保険金額が5千万円以上の保険加入 | 2  | 2  |
|        |                                 | B A又はC以外                  | 1  |    |
|        |                                 | C 保険未加入                   | 0  |    |
| ②業務成績  | 過去5年間の成績<br>評定平均値 <sup>※1</sup> | A 70点以上                   | 3  | 3  |
|        |                                 | B 65点以上70点未満              | 2  |    |
|        |                                 | C 60点以上65点未満              | 0  |    |
|        |                                 | D 60点未満                   | -3 |    |

※1 本評価項目については、技術提案書の提出は求めない。平成30年度以降に本市と直接契約（設計変更契約を含まない。）し、令和4年度までに完了した設計業務委託のうち、都市計画局公共建築部が完了検査を実施したのものに関する成績評定の平均値について、少数点以下第一位を切り捨て、整数で評価する。ただし、対象となる受注実績がない場合は、C評価相当として取り扱う。

#### (2) 管理技術者の実績等 【 20点】

| 評価項目      | 評価事項                                                                  | 評価                                                  | 配点 | 満点 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----|----|
| ①業務実績の参考度 | 同種業務の実績の本業務への参考度 <sup>※2</sup><br>・延べ床面積                              | A 延べ床面積 <sup>※3</sup> が300㎡を超える準耐火建築物 <sup>※4</sup> | 8  | 8  |
|           |                                                                       | B 延べ床面積 <sup>※3</sup> が300㎡を超えるもの <sup>※4</sup>     | 6  |    |
|           |                                                                       | C 延べ床面積が150㎡ <sup>※3</sup> を超えるもの <sup>※4</sup>     | 4  |    |
|           |                                                                       | D 上記以外                                              | 2  |    |
|           |                                                                       | E 実績なし                                              | 0  |    |
| ②業務実績の参考度 | 同種業務の実績の本業務への参考度 <sup>※2</sup><br>・木材利用（木造化・木質化）の工夫<br>・環境負荷の低減に向けた取組 | A 非常に参考になる                                          | 8  | 8  |
|           |                                                                       | B 参考になる                                             | 6  |    |
|           |                                                                       | C 普通                                                | 4  |    |
|           |                                                                       | D やや参考にならない                                         | 2  |    |
|           |                                                                       | E 参考にならない又は実績なし                                     | 0  |    |
| ③CPDの取得状況 | 指定期間内における単位取得数                                                        | A 12単位以上                                            | 2  | 2  |
|           |                                                                       | B 6単位以上12単位未満                                       | 1  |    |
|           |                                                                       | C 6単位未満                                             | 0  |    |
| ④業務繁忙度    | 委託期間内に従事する他業務の件数                                                      | A 1件以下                                              | 2  | 2  |
|           |                                                                       | B 2件                                                | 1  |    |
|           |                                                                       | C 3件以上                                              | 0  |    |

※2 上記①、②において、同種業務の従事した事実の証明が確認できない場合は、実績なしとして評価する。

※3 増築及び改築工事にあつては、増築及び改築部分を対象とする。

※4 敷地内に複数の建築物がある場合、又は用途が複合する建築物の場合は、同種業務に該当する部分の延べ床面積とする。また、階数においては、同種業務に該当する部分が複数階にまたがるものとする。

## (3) 設計担当主任技術者の実績等

【 20点】

| 評価項目      | 評価事項                                                                  | 評価                                                  | 配点 | 満点 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----|----|
| ①業務実績の参考度 | 同種業務の実績の本業務への参考度※ <sup>5</sup><br>・延べ床面積                              | A 延べ床面積※ <sup>6</sup> が300㎡を超える準耐火建築物※ <sup>7</sup> | 8  | 8  |
|           |                                                                       | B 延べ床面積※ <sup>6</sup> が300㎡を超えるもの※ <sup>7</sup>     | 6  |    |
|           |                                                                       | C 延べ床面積が150㎡※ <sup>6</sup> を超えるもの※ <sup>7</sup>     | 4  |    |
|           |                                                                       | D 上記以外                                              | 2  |    |
|           |                                                                       | E 実績なし                                              | 0  |    |
| ②業務実績の参考度 | 同種業務の実績の本業務への参考度※ <sup>5</sup><br>・木材利用（木造化・木質化）の工夫<br>・環境負荷の低減に向けた取組 | A 非常に参考になる                                          | 8  | 8  |
|           |                                                                       | B 参考になる                                             | 6  |    |
|           |                                                                       | C 普通                                                | 4  |    |
|           |                                                                       | D やや参考にならない                                         | 2  |    |
|           |                                                                       | E 参考にならない又は実績なし                                     | 0  |    |
| ③CPDの取得状況 | 指定期間内における単位取得数                                                        | A 12単位以上                                            | 2  | 2  |
|           |                                                                       | B 6単位以上12単位未満                                       | 1  |    |
|           |                                                                       | C 6単位未満                                             | 0  |    |
| ④業務繁忙度    | 委託期間内に従事する他業務の件数                                                      | A 1件以下                                              | 2  | 2  |
|           |                                                                       | B 2件                                                | 1  |    |
|           |                                                                       | C 3件以上                                              | 0  |    |

※5 上記①、②において、同種業務の従事した事実の証明が確認できない場合は、実績なしとして評価する。

※6 増築及び改築工事にあつては、増築及び改築部分を対象とする。

※7 敷地内に複数の建築物がある場合、又は用途が複合する建築物の場合は、同種業務に該当する部分の延べ床面積とする。また、階数においては、同種業務に該当する部分が複数階にまたがるものとする。

## (4) 業務実施の方針、体制等

【 50点】

| 評価項目            | 評価事項                                                                                                        | 評価         | 配点 | 満点 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|
| ①業務の実施方針・進め方・体制 | ・業務の目的、条件、内容の理解度<br>・業務実施の手順、工程、フロー等の妥当性<br>・体制の妥当性（チームの特徴、担当者数、責任の所在等）<br>・その他評価に値すべき事項（ZEB 実現に向けた検討体制 など） | A 極めて評価できる | 25 | 25 |
|                 |                                                                                                             | B 評価できる    | 20 |    |
|                 |                                                                                                             | C 普通       | 15 |    |
|                 |                                                                                                             | D やや評価できない | 10 |    |
|                 |                                                                                                             | E 評価できない   | 0  |    |
| ②設計コンセプト        | 「京都市立翔鸞小学校整備事業 基本計画説明書」を踏まえ、RC造と木造の混構造とする中で、木造部分について、木の温もりを感じられる空間の設えとすることに対する設計方針や配慮する事項                   | A 極めて評価できる | 20 | 20 |
|                 |                                                                                                             | B 評価できる    | 15 |    |
|                 |                                                                                                             | C 普通       | 10 |    |
|                 |                                                                                                             | D やや評価できない | 5  |    |
|                 |                                                                                                             | E 評価できない   | 0  |    |
| ③コスト            | イニシャルコスト及びランニングコストの縮減に向けた手法や設計において配慮する事項                                                                    | A 極めて評価できる | 5  | 5  |
|                 |                                                                                                             | B 評価できる    | 4  |    |
|                 |                                                                                                             | C 普通       | 3  |    |
|                 |                                                                                                             | D やや評価できない | 2  |    |
|                 |                                                                                                             | E 評価できない   | 0  |    |

## (5) 見積金額

【 5 点】

| 評価項目       | 評価基準                                                       | 配点 | 満点 |
|------------|------------------------------------------------------------|----|----|
| 見積金額<br>※8 | A= 最低金額 <sup>※9</sup> 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×1/5) 未満       | 5  | 5  |
|            | B= (最低金額+(概算予定価格-最低金額)×1/5) 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×2/5) 未満 | 4  |    |
|            | C= (最低金額+(概算予定価格-最低金額)×2/5) 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×3/5) 未満 | 3  |    |
|            | D= (最低金額+(概算予定価格-最低金額)×3/5) 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×4/5) 未満 | 2  |    |
|            | E= (最低金額+(概算予定価格-最低金額)×4/5) 以上、概算予定価格以下                    | 0  |    |

※8 見積金額の評価においては、参加者の提案した見積金額が、以下に掲げる算出方法により算出した金額を下回るときは、以下に掲げる算出方法により算出した金額を参加者の見積金額とみなす。(以下「みなし見積金額」という。)

算出方法：直接人件費＋特別経費＋技術料等経費×60％＋諸経費×60％(端数処理は行わない)

※9 最低金額は、本件プロポーザル参加者から提案があった見積金額のうち一番低い金額とする。ただし、みなし見積金額が含まれる場合は、みなし見積もり金額を最低金額とする。